

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[日本基準](連結)

2025年10月30日

上場会社名 株式会社メイテックグループホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9744 URL https://www.meitecgroup-holdings.com

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名) 上村 正人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ経理財務担当 (氏名)山下 徹 TEL 050-3033-0945

半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年11月28日

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		造上高		経常利:	益	親会社株主に 中間純利	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
2026年3月期中間期	68, 352	3.8	10, 063	11.6	10, 172	12. 4	6, 933	25. 2		
2025年3月期中間期	65, 837	5. 3	9, 020	4. 6	9, 048	4. 9	5, 538	△3.7		

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 6,887百万円 (24.2%)

2025年3月期中間期

5,546百万円 (△4.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	89. 80	_
2025年3月期中間期	71. 73	_

(2)連結財政状態

(= / /C-14/1-2(1/10)			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	87, 012	47, 170	54. 2
2025年3月期	93, 605	48, 776	52. 1

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 47.170百万円 2025年3月期 48.776百万円

2. 配当の状況

			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円 銭	円 銭	円銭	円 銭
2025年3月期	_	88. 00	_	110.00	198. 00
2026年3月期	_	90.00			
2026年3月期(予想)			_	91.00	181. 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

2025年3月期配当金の内訳 普通配当 168円00銭 記念配当 30円00銭 (創業50周年記念配当)

配当予想の修正につきましては、添付資料2ページ「(4)配当予想の修正(期末配当)」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業	利益	経常	利益	親会社株 する当期	主に帰属 期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	137, 000	3. 0	20, 200	7. 3	20, 400	7. 9	13, 900	9. 1	180. 04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正につきましては、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」 をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更: 無 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
① ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	78, 000, 000株	2025年3月期	78, 000, 000株
2026年3月期中間期	793, 218株	2025年3月期	792, 998株
2026年3月期中間期	77, 206, 921株	2025年3月期中間期	77, 207, 467株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

〇添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当中間期の経営成績の概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2)当中間期の財政状態の概況	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 配当予想の修正(期末配当)	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1)中間連結貸借対照表 ·····	3
(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(山間連結財務諸素の作成に特有の会計処理に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(6ヶ月間:2025年4月1日~2025年9月30日)においては、海外情勢の不安定化が継続し、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの連結売上高 9 割超を占めるエンジニアリングソリューション事業を担うメイテック (MT) 、メイテックフィルダーズ (MF) では、主要顧客である大手製造業各社が、次代を見据えた技術開発投資を進められたことから、受注と稼働率は堅調に推移しました。採用の苦戦を主因に、2025年 9 月末のエンジニア社員数 (MT・MFの合計)は、12,393名(前年 9 月末比▲119名、▲1.0%)と、前年同期比で若干減少しました。稼働率は受注に応えて、新入社員および既存社員の配属を促進した結果、前期並みとなりました。なお、稼働時間は時間外労働の減少等により、前年同期比で若干減少しました。

その結果、連結売上高は、前年同期比25億14百万円(3.8%)増収の683億52百万円となりました。連結売上原価は、労務費増加等により、前年同期比18億80百万円(3.9%)増加の500億91百万円、連結販売費及び一般管理費は、前年同期比4億8百万円(4.8%)減少の81億97百万円となり、その結果、連結営業利益は、前年同期比10億43百万円(11.6%)増益の100億63百万円、連結経常利益は、前年同期比11億24百万円(12.4%)増益の101億72百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前期に当社所有の大型研修施設の利用停止に伴う6億20百万円の減損損失を計上したことから、前年同期比13億95百万円(25.2%)増益の69億33百万円となりました

詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2026年3月期第2四半期決算説明 資料」を参照下さい。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末(2025年9月30日)の資産合計は、前連結会計年度末(2025年3月31日)比で65億93 百万円減少し、870億12百万円となりました。これは、現金及び預金の減少に伴い流動資産が前連結会計年度末 比で68億37百万円減少した事が要因です。なお、現金及び預金の減少は、賞与支給や未払法人税等の納付、前 連結会計年度の期末配当支払などが主因です。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比で49億86百万円減少し、398億42百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で51億84百万円減少した事が要因です。なお、流動負債の減少は、流動負債その他に含まれている未払消費税等の減少などが主因です。

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比で16億6百万円減少し、471億70百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による親会社株主に帰属する中間純利益の獲得に、配当金の支払の影響が相殺された事などが主因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の動向を踏まえ、エンジニアリングソリューション事業における主要指標を修正し、2025年5月8日に公表した連結業績予想を修正いたしました。

なお、現時点の業績予想の詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2026年3月期第2四半期決算説明資料」を参照下さい。

(4) 配当予想の修正 (期末配当)

2026年3月期連結業績予想の修正を踏まえ、利益配分の基本方針に即して2026年3月期の期末配当予想を修正しました。

なお、詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2026年3月期第2四半期決算説明資料」を参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1)中間連結貸借対照表

	前連結会計年度	(単位:百万円) 当中間連結会計期間
	(2025年3月31日)	(2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53, 005	49, 150
受取手形及び売掛金	18, 106	18, 95
仕掛品	196	22
未収消費税等	3, 659	
その他	2, 088	1, 88
貸倒引当金		Δ
流動資産合計	77, 050	70, 21
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2, 724	2, 66
その他 (純額)	1, 525	1, 51
有形固定資産合計	4, 250	4, 17
無形固定資産		
その他	312	26
無形固定資産合計	312	26
投資その他の資産		
繰延税金資産	9, 686	9, 70
その他	2, 321	2, 66
貸倒引当金	△16	
投資その他の資産合計	11, 991	12, 36
固定資産合計	16, 554	16, 79
資産合計	93, 605	87, 01
負債の部		0., 02
流動負債		
未払法人税等	4, 539	3, 49
役員賞与引当金	70	7
賞与引当金	11, 384	11, 57
その他	12, 011	7, 68
流動負債合計	28, 005	22, 82
固定負債	20,000	22,02
退職給付に係る負債	16, 823	17, 02
固定負債合計	16, 823	17, 02
負債合計		
・ 兵順口司 純資産の部	44, 828	39, 84
株主資本	F 000	F 00
資本金	5,000	5, 00
資本剰余金	1, 259	1, 25
利益剰余金	43, 942	42, 38
自己株式	<u>△1,693</u>	△1, 69
株主資本合計	48, 508	46, 94
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△508	△50
退職給付に係る調整累計額	776	73
その他の包括利益累計額合計	267	22
純資産合計	48, 776	47, 17
負債純資産合計	93, 605	87, 01

(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

()) / LL.		\rightarrow	
(単位	•	石石田	1)

		(単位:日ガ円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	65, 837	68, 352
売上原価	48, 210	50, 091
売上総利益	17, 626	18, 261
販売費及び一般管理費	8, 606	8, 197
営業利益	9, 020	10, 063
営業外収益		
受取利息	5	52
助成金収入	15	32
還付加算金	7	20
その他	8	6
営業外収益合計	36	112
営業外費用		
コミットメントフィー	1	_
賃貸借契約解約損	_	1
その他	7	1
営業外費用合計	9	3
経常利益	9, 048	10, 172
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	620	10
特別損失合計	621	11
税金等調整前中間純利益	8, 426	10, 160
法人税等	2, 888	3, 227
中間純利益	5, 538	6, 933
親会社株主に帰属する中間純利益	5, 538	6, 933

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

		(十四・日2717)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	5, 538	6, 933
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	8	$\triangle 46$
その他の包括利益合計	8	△46
中間包括利益	5, 546	6, 887
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5, 546	6, 887

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実 効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。